

話題： 脂肪肝の病名変更

非アルコール性脂肪性肝疾患 NAFLD → MASLD

非アルコール性脂肪肝炎 NASH → MASH

2024年1月 岡山赤十字病院肝臓内科
小橋春彦 歳森淳一 植松凜也

1. 脂肪性肝疾患の名称変更

欧米の肝臓学会から、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）など脂肪性肝疾患の名称を以下のように変更することが発表されました（2023年6月）。今後これらの日本語訳も変更されることになりそうです。日本肝臓学会 2023/9/29 Rinella ME et al, J Hepatol. 2023: 1542-1556

日本語病名	旧	新
非アルコール性脂肪性肝疾患	NAFLD non-alcoholic liver disease	MASLD Metabolic dysfunction Associated Steatotic Liver Disease
非アルコール性脂肪肝炎	NASH non-alcoholic steatohepatitis	MASH Metabolic dysfunction Associated Steatohepatitis
新しい概念： 飲酒量がアルコール性肝疾患とNAFLD の中間で、 メタボリック症候群の基準の一部を満たす		MetALD MASLD and increased alcohol intake
アルコール性脂肪肝	alcoholic fatty liver disease	ALD Alcohol-associated (or related) Liver Disease
特殊な原因による脂肪肝 (薬剤性、遺伝疾患など)		Specific aetiology SLD (Drug-induced Liver Injury, Monogenic diseases, Miscellaneous)
原因不明の脂肪肝		Cryptogenic SLD

2. 脂肪肝からの肝がん発生とスクリーニング

MASHによる肝硬変からの肝がん率は年1～3%と高く、肝線維化の進行は肝がんの高リスクです。肝がんを早期発見するためには肝線維化が進行した症例を発見し定期スクリーニングすることが必要です。肝線維化の指標としてFIB-4 index(以下) や線維化マーカーM2BP Gi が有用です。FIB-4 index 1.31以上は線維化中リスク、2.67以上は線維化高リスクと考えられます。大塚基之 岡山医学会雑誌135巻 2023 p18-21

$$\text{FIB-4 index} = \frac{\text{AST (IU/L)} \times \text{年齢}}{\text{血小板数 (0.1万/}\mu\text{L)} \times \sqrt{\text{ALT (IU/L)}}$$

3. MASLD/MASHの治療

MASLDは肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症と強く関連しており、治療はライフスタイルの修正・食事療法・運動療法による肥満の是正が最も基本的であり重要です。有効な薬物療法は確立されていませんが、ビタミンE、2型糖尿病合併例ではチアソリジン、GLP-1作動薬、SGLT-2阻害薬、高コレステロール血症合併例ではスタチン、高血圧合併例ではARB、ACE阻害剤の投与が提案されています。他の候補薬としてはペマフィブラートなどが検討されています。Tokusige K. J Gastroenterol. 2021;56:951-96

